

第3期中期計画の概要

<キャッチフレーズ>

飛躍へのさらなる挑戦

北キャンパスへの施設整備によりハード面が変化していく中、ソフト面においては、地域貢献型大学として、さらに存在感や魅力を高めていくため、これまで築いてきた土台をしっかりと固めつつ、飛躍に向けてさらなる挑戦により深化していくことを目指す



<2つの柱>

地域で共創できる人材の育成

人材育成機関として、これまでの地域マインドを持った学生の輩出から一歩進み主体的に行動し、地域に新たな活力を生み出し、地域を動かし地域の担い手となるような学生を輩出していく

地域に不可欠な大学の確立

地域貢献型大学として、地域に根ざすための土台をしっかりと固めつつ、大学と地域が一体となって共創することで、地域での評価が高まり、地域(山口県)にはなくてはならない存在を確立



<目的>

教育・研究活動が地域貢献と融合し、大学と地域がウィンウィンの関係となるような好循環を創出する大地共創の確立

※大地共創(大学と地域の共創)
山口県立大学と地域が一体となって教育・研究活動を進め、地域の人材、地域の文化、地域の生活において新たな価値を創造すること
(また、樹木が大地に根を張るように、大学が深く地域に根を張っていくというイメージも重ね合わせる)



<4つの方向性>

地域での教育展開向上

研究の地域還元

地域貢献の深化

大学運営の改革

【主な取組】

・地域で共創できる人材の育成

・大地共創教育の実施

・地域連携教育の可視化

・各学部、研究科の専門教育
(3つのポリシー、カリキュラムの見直し)

・社会的職業的自立に関する教育・支援体制の実質化

・論文等発表活動の質の実質化

・科研費等外部資金申請の促進及び研究の質の向上

・大地共創研究の実現

・入学者に占める県内生割合の向上

・卒業生の県内定着

・卒業生を対象とした地域共創人材の育成

・県の政策実現及び市町その他団体の課題解決への貢献

・機能的な組織編制の確立

・業務監査体制の整備

・大学の情報発信の仕組み構築

・自主財源の確保と経費の抑制

・自己点検、評価に関する改善の仕組み